

笠岡市東部にある笠岡湾干拓や瀬戸の眺望が素晴らしい花崗岩質の山  
応神山



指定区分	国指定名勝
読みかた	おうじんやま
所在地	笠岡市笠岡
指定年月日	昭和18年8月27日
解説	標高219mの花崗岩質の山。花崗岩の巨岩・奇岩が露出し、アカマツ、クロマツの緑とともに美しい山容を見せる。伝説では、巡幸した応神天皇が当地で狩りを楽しんだゆかりの地と伝えられ、ふもとに応神天皇を祭神とする笠神社がある。
アクセス方法	JR笠岡駅から笠神社まで徒歩約7分さらに頂上まで徒歩約1時間
公開状況	自由
設備	
備考	遊歩道も整備され、山上のひらけた場所から、市街地や笠岡湾干拓地、さらには沖合に点在する瀬戸内海の島々を一望することができます。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定名勝
ぶんかざいめい (文化財名)	応神山
よみかた	おうじんやま
しょざいち (所在地)	笠岡市笠岡
していたひ (指定した日)	昭和18年8月27日
せつめい	笠岡市(かさおかし)の東(ひがし)にある標高(ひょうこう)219メートルの山です。花崗岩(かこうがん)でできた大きくてめずらしい形の岩があちこちに見られます。その昔、応神天皇(おうじんてんのう)がここで狩りを楽しんだといわれ、ふもとに応神天皇を祭(まつ)った笠神社(かさじんじゃ)があります。